

The Birth of Seeing

Tomoko Konoike

みる誕生

鴻池朋子展



2022年 7月16日 土 ~ 9月4日 日

SETOUCHI
TRIENNALE
2022

瀬戸内国際芸術祭2022参加展覧会

休館日 月曜日(ただし、7月18日(月・祝)及び8月15日(月)は開館)、7月19日(火) 休館
開館時間 9:30~17:00(金曜日・土曜日は19:00閉館 / 入室は閉館30分前まで)
観覧料 一般1,000円【800円】、大学生500円【400円】、高校生以下無料

【】内は瀬戸内国際芸術祭2022 作品鑑賞バスポート提示及び20名以上の団体料金
※前売チケットの販売はありません。※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。

Closed Monday (except July 18, August 15), July 19 Hours: 9:30-17:00 (Entry until 16:30) / Friday & Saturday 9:30-19:00 (Entry until 18:30)

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催内容の変更や入場制限等を行う場合があります。ご来場前に必ずホームページにて展覧会情報をご確認ください。

TAKAMATSU
高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

みる誕生

鴻池朋子展

これまで芸術が特権的に提示してきた視覚中心の価値観、文化と経済のグローバル化の構造が、今、地球規模の転換期を迎えています。鴻池朋子は、アニメーション、絵画、絵本、彫刻などから手芸、おとぎ話、歌まで、あらゆる身近なメディアを用い、旅をして地形や季節と共に作品をつくり、その始まりから貫いて芸術の根源的な問い直しを続けてきました。

今回、鴻池は生まれたての体で世界と出会う驚きを「みる誕生」と名付けました。観客は眼だけでなく、手で見る、鼻で診る、耳で視る、そして引力や呼吸で観て、美術館という強固な建築と、疎遠になつた自然界とに新たな通路を開いていきます。新作の《どうぶつ》の模型、牛革ツギバギの《皮トンビ》などを、人間の痕跡である美術館のコレクションと共存させます。また、美術館と海を隔てた大島とをつなぐ、生命の波打ち際である「インタータイダル・ゾーン(潮間帯)」というトポスには、国立療養所 菊池恵楓園 絵画クラブ「金陽会」の作品、若林奮の《緑の森の一角獣座模型》、手芸《物語るテールランナー》などが波のように寄せ合います。生きていくことは、みな、時も光も全て違う。観客も、もはや人間だけではないのです。



(参考図版)《武蔵野皮トンビ》設置風景 2021 © 2021 Tomoko Konoike Courtesy of Kadokawa Culture Museum ※本展では新作を展示します。



制作風景 2022



《Dream Hunting Grounds カベینگ壁畫》秋田県立近代美術館 展示風景 2018 / 新田安紀芳氏蔵(アーツ前橋寄託)

《振り子 アースペイバー 初号機》2020

The Birth of Seeing Tomoko Konoike

Art that has been focused on humans in the past is now entering a significant turning point of the era. Konoike has named the surprise you feel when you meet the world in a newborn body the "birth of seeing". By seeing a piece not only with the eyes, but also with your hands, your nose, your ears, gravity and breath, we open a new passage to the natural world disconnected from solid architecture of the art museum. A place/Topos as an "intertidal zone" where the waves of life lap will appear in the art museum, connecting Seto Oshima Island across the sea. Audiences and artists are no longer only humanity.

鴻池 朋子 Tomoko Konoike

主な個展、2016年「根源的暴力」(群馬県立近代美術館ほか / 芸術選奨文部科学大臣賞)、2018年「Fur Story」Leeds Arts University(イギリス)、2020年「FLIP ちゅうがえり」(アーティゾン美術館 / 毎日芸術賞)。1960年、秋田県生まれ。

関連イベント お問い合わせ・お申込みは高松市美術館(電話 087-823-1711 メール bijyutsu@city.takamatsu.lg.jp)まで。

「みる誕生会」

手で見て語る鑑賞会。
対象：見えにくい・見えにくい人4名、見える人3名
要観覧券

- ①7月17日(日) 10:30 ~ 12:30
ナビゲーター：鴻池朋子
- ②8月21日(日)、③8月24日(水)各10:30 ~ 12:30
ナビゲーター：当館学芸員

申込受付開始
7/1(金)8:30より

「筆談ダンス Dance in writing」

8月7日(日) 13:30 ~ 15:00(13:15 開場)
2階展示室前 / 無料 / 25名

出演：木下知威(歴史学者)、鴻池朋子
二人は声と聴覚ではなく、目と手と体を使って「音楽」について対話し、文字と絵が壁や床に描き出されます。

申込受付開始
7/15(金)8:30より

トポストーク

1階インタータイダル・ゾーンにて、金陽会の絵画と大島青松園「リングワンデルング」との繋がりをお話します。

【学芸員】7月17日(日)、7月24日(日)
【ボランティアcivl】会期中の日曜日(7月17日、24日、8月7日除く)・祝日
各14:00 ~ / 1階エントランスホールに集合 / 要観覧券

鴻池朋子クロストーク

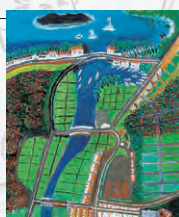
1階講堂 / 無料 / 各70名

クロストーク1

「絵の波打ち際から」

7月16日(土) 13:30 ~ 15:00(13:15 開場)
出演：藏座江美(キュレーター)、鴻池朋子

国立療養所 菊池恵楓園 絵画クラブ「金陽会」の作品展は大島の同時開催も含め四国では初の大規模な展示です。そのユニークな展覧会を発案した作家が、作品に長年携わってきた藏座さんと実現までの経緯を語ります。



木下知威蔵(故郷の風景)2002 一般社団法人金陽会蔵/坂本利代

クロストーク2

「糞土思想から」みる驚き

8月7日(日) 10:30 ~ 12:00(10:15 開場)
出演：伊沢正名(糞土師、元自然写真家)、鴻池朋子

葉っぱの糞で約半世紀!人間の痕跡であるウンチと作品をめぐる地球生命の深い話が飛び出します。
※手話通訳有り



ウンコゾシ入門 伊沢正名(著)小池桂一(絵) 備後社

申込受付開始
7/2(土)8:30より

こども鑑賞プログラム

①7月30日(土)、②8月20日(土) 各10:30 ~ 11:30
学芸員と一緒に展覧会を鑑賞します。
対象：小学生以下(小学2年生以下は保護者同伴)
2階展示室 / 無料(保護者は要観覧券) / 各10名程度

申込受付開始
7/15(金)8:30より
お電話でお申し込み
ください。(メール不可)

ふらっとアート「ウンチをつくらう!」

8月4日(木)・5日(金) 各13:00 ~ 16:00、
8月6日(土) 10:00 ~ 16:00

実施時間内のいつでも、ふらっと立ち寄って工作できる、ふらっとアート。今回は、展覧会テーマに合わせて、「ウンチ」を粘土で作ります。
(※後日8月7日(日)糞土師による講評会あり!)

中2階子ども+ (プラス) / 申込不要・無料

学校と美術館のためのプログラム

8月27日(土) 14:00 ~ 16:00
展覧会案内・美術館の活用について意見交換。
対象：教員等 / 1階講堂 / 無料 / 10名

申込受付開始
7/15(金)8:30より
お電話でお申し込み
ください。(メール不可)

ミニコンサート「動物たちの音楽会 2022」

8月6日(土) 13:30 ~ 14:00
1階講堂 / 無料 / 70名
協力：香川大学 監修：青山夕夏

申込受付開始
7/15(金)8:30より
お電話でお申し込み
ください。(メール不可)

美術館の日

8月6日(土)は、当館の誕生日をお祝いし、どなたも観覧料無料となります。

(電巻-6) 2019

瀬戸内国際芸術祭 2022(夏)

2022年8月5日(金) ~ 9月4日(日)

当特別展(1k15)は、瀬戸内国際芸術祭 2022 作品鑑賞パスポートを提示すると、通常観覧料の2割引きで鑑賞できます。



高松市美術館

TAKAMATSU ART MUSEUM

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel. 087-823-1711

www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/

高松市美術館SNSぜひご覧ください

【交通のご案内】

- ・JR四国：高松駅下車、南へ徒歩約15分
- ・ことடன்：瓦町駅、片原町駅下車、徒歩約10分
- ・バス路線：(ジョングレインボ-循環バス) 紺屋町 / バス下車、徒歩約2分
(まちバス) 丸亀町参番街下車、徒歩約3分
(高速バス) 片原通り下車、徒歩約8分
- ・駐車場：美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車約144台収容)

